2023年度　第2回　ピットフォール研究専門委員会議事録

日　時：2023年10月23日(月)19:00～19：45
場　所：ZoomによるWeb会議
出席者（敬称略）：中野恵一（北海道大学病院）、阿部雅仁（栄研化学株式会社）、上田一仁（関西医療大学）、川崎健治（千葉大学医学部附属病院）、阿部正樹（東京慈恵会医科大学附属第三病院）、細羽恵美子（東京女子医科大学病院）、土筆智晶（北里大学病院）、脇 雅宏（ニットーボーメディカル株式会社）、菅野光俊（福島県立医科大学）、石嶺南生（信州大学医学部附属病院）、清宮正徳（国際医療福祉大学）、三好雅士（徳島大学病院）

欠席者（敬称略）：小島和茂（日本電子株式会社）、長田　誠（群馬パース大学）、濵田悦子（文京学院大学）、藤田清貴（群馬パース大学）

【報告事項】

1．2023年ピットフォール研究専門委員会シンポジウムについて（三好・脇）

10月18日　18時～　担当委員、司会、演者による打ち合わせを実施した。それに基づき当日の流れについて報告があった。

本シンポジウムが臨床検査専門医講習　2単位として認定された。

2．2022年日本臨床検査医学会　共催シンポジウム　学会誌への掲載について（三好）

日本臨床検査医学会誌71巻9号に「ピットフォール事例から臨床貢献へ」が掲載された。

3．ピットフォール相談窓口進捗報告（中野）

2022年10月～　3件の相談があり、各相談の概要について情報共有を行った。

今年度より、相談事例の対応はグループごとの輪番制をとっている。担当グループの委員は委員会内での意見の取りまとめ、コーディネートをご担当いただきたい。

4．HUフロンティアHPへの「ピットフォール症例解析マニュアル」リンク掲載について（三好）

2023年10月17日　常務理事会にて承認された。

5．2023年度第1回学術連絡会議報告（三好）

2024年日本臨床検査医学会共催シンポジウム：リポ蛋白専門委員会担当

2024年APFCBシンポジウム担当について：学術連絡会議内で、ピットフォール研究専門委員会の企画に決定したような言い回しであった。山田委員長に確認する。

→　年次学術集会時に山田委員長・三井田理事長に確認。企画は決定とのこと。
委員会から演者を選出してほしいとの依頼あり。（2023.11.5　三好追記）

6．その他

2023年10月4日に開催された集会・広報委員会について、阿部委員（栄研）より報告があった。各委員会のHP更新状況・アクセス数について、当委員会は良好であり、更新頻度・アクセス数とも高めで推移している。当委員会活動はHPを軸に動いているものも多く、迅速な更新と情報の充実を保っていきたい。

また学会として、バナー広告に対するインセンティブを検討中である。

【協議事項】

1．「ピットフォール研究専門委員会からの挑戦状」について（三好）

委員会活動の広報も含めたニュースレターの発行を2024年度にはスタートしたい。現在の進捗および進め方について濱田委員に確認する。

→　年次学術集会時に濱田委員に確認。症例が決定すれば開始できる状況とのこと。
　　年度内に検討し、2024年度開始予定ですすめる。（2023.11.5　三好追記）

2．事例集の更新について（三好）

2023年内に事例の収集方法などを決定し、2024年4月を目途に更新を行う。今後は、対応したピットフォール相談事例の掲載を含め、定期的に更新できるようお願いしたい。

3．その他

相談窓口のフォームより、ピットフォール症例解析マニュアルを研修会等に使用したいという申し出が3件あり、個別対応したことが中野副委員長より報告された。マニュアルの利用については学会から提示されたルール内でなるべく多くの方にご活用いただきたいと考えている。

相談事例について、内容の高度化と件数の減少傾向を認める。相談事例の減少は委員会活動に直結するため、より気軽に相談いただけるよう広報活動を行いたい（三好）。

委員より下記の通り活発な意見がだされた。実現可能か検討していく。

・医学検査学会などで共催シンポジウムを開催
・リーフレットを作成し、各学会等で配布
・医療検査科学会　科学技術委員会などとコラボ（事例集にも）

以上